

FUJI UNIV. 富士大学広報誌

FUJI UNIVERSITY INFORMATION

■ 大学院 / 経済・経営システム研究科 ■ 経済学部 / 経済学科・経営法学科

2021.2.1

No.50

建学の精神

本学の教育理念は、人類の築き上げつつある学術文化を研究・教授し、深い教養と総合的判断力を具えた豊かな人間性を養うことによって、平和的かつ創造的な文化の向上と活力ある社会の発展に寄与する人材を育成するにある。この理念に基づき、特に地球的・国際的視野の涵養、創造的・実践的知性の開発、自発的・奉仕的精神の体得を目標として、心身ともに健全な学生の育成を期する。

本学のモットー

思索と行動は人生の双つの翼だ



富士大学

〒025-8501 岩手県花巻市下根子 450-3 TEL0198-23-6221・FAX0198-23-5818

新型コロナウイルス感染症への対応について



今年 1 月、本学の学生寮において新型コロナウイルス陽性者が確認されました。管轄保健所のご指導に従い、接触状況の調査を行い PCR 検査を実施したところ、複数名の学生が陽性と確認されました。全員入院措置を取りましたが、幸い皆軽症で、収束に向かっているところです（1/26 現在）。



授業については、対面での授業を中止し、オンライン授業に切り替えました。寮生に対しては、感染拡大防止のため外出禁止の措置を取りました。

寮生をはじめとする全学生とご家族の皆様、市民・県民の皆様、その他関係の皆様には大変ご心配をお掛けしているところです。なお、花巻市をはじめ多くの皆様から、学生寮で外出禁止になっている学生のために、食品や飲料等多大なご支援をいただきました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

本学では、今後も一層の感染拡大防止に向け取り組んでまいります。



「地域創生論」シンポジウム

5 年目を迎えた「地域創生論」。今年度は公開授業のかたちとはならず、学生と教職員のみを対象として行いました。最終日 7 月 23 日は、「地域創生の実現に向けて V」と題して、岩手県副知事の保和衛氏と岩手日報社編集局報道部次長の鹿糠敏和氏をパネリストとしてお迎えし、シンポジウムを開催しました。

シンポジウムではまず、岩手県の保副知事から「県民の幸福度向上へふるさと振興の取組みについて」と題して地域創生に関する岩手県の取組みをご紹介いただきました。次に、岩手日報社の鹿糠報道部次長から「地方の今、未来ー岩手の現場から地方創生を考えるー」というテーマでジャーナリストの視点から話題を提供していただきました。

その後、受講者からパネリストに、「少子化・労働力不足への対策と先端最新技術導入」「ILC のメリットとデメリット」「県民の幸福度を県民計画の指標とした理由」など関する質問が出され、パネリストとの間で活発な意見交換がなされました。

2014 年に始まった国の地方（地域）創生政策は、5 年計画の第 1 期を終え、今年度その第 2 期の初年度を迎えました。その間、時代は平成から令和に変わり、消費税が 10% となり、未知の新型コロナウイルスが世界的に感染拡大し、そして新しい日常の模索がなされています。私たちの生活と社会は一つの変化のなかにあります。そうした変化の時代、地域創生の実現に向けた取組みの変化と重点は今どこにあるのか。このシンポジウムは、私たちと社会と時代と地域創生への関わりを考える一つの契機となりました。

最後に、コーディネータの岡田学長より、保副知事が県民計画の紹介のなかで述べていた「生きにくさを生きやすさへ転換すること」、つまり価値転換が、この時代の地域創生を考える際の重要なキーワードになるのではないかとの見解が示され、今年度の「地域創生論」を締めくくりました。



保和衛岩手県副知事



熱心に聞き入る受講者



左から青木理事長、鹿糠岩手日報社報道部次長、保副知事、岡田学長

市民セミナーを開催しました

花巻市と北上市において、「私たちの社会の課題を考えるーコロナ禍を契機としてー」を統一テーマに市民セミナーを開催しました。

【花巻市】花巻市生涯学園都市会館

9 月 9 日～10 月 21 日 毎週水曜日 計 6 回

【北上市】北上市生涯学習センター

11 月 16 日～20 日で計 4 回

- 「家族と経済学」田中藍子准教授
- 「障がい者とスポーツ」金亨俊教授
- 「震災と教育」佐々木義孝教授
- 「マスメディアと社会」菊池豊教授
- 「異文化交流から多文化共生へ」木村毅教授
- 「科学技術の発展ーその光と影」藤原忠雄教授



いちのへ町民セミナーに講師として参加しました

2019 年に包括連携協定を締結した一戸町が主催する令和 2 年度「いちのへ町民セミナー」に、本学の教員が講師として参加しました。

【子ども孝行のすすめ ～その後～】

8 月 20 日 関上哲教授

【スポーツと健康科学】

9 月 3 日 内城寛子准教授

【音楽のリフレッシュ効果】

11 月 20 日 佐々木裕教授



【訃報】 藤原隆男名誉学長 ご逝去のお知らせ

藤原隆男名誉学長が令和 3 年 1 月 2 日に逝去されました（享年 84 歳）。

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

藤原名誉学長は、平成 21 年 11 月から平成 27 年 10 月まで富士大学第九代学長を務められました。

平成 28 年秋の叙勲で瑞宝中綬章（教育研究功労）を受章されました。

運動部の活躍

コロナ禍で、多くの大会・試合が試合が中止となる中、代替大会などで活躍しました。

サッカー部が天皇杯に出場しました

サッカー部が、天皇杯 JFA 第100回全日本サッカー選手権大会に出場しました。

岩手県予選は、9月2日に決勝が行われ、日本製鉄釜石に1-0で勝ち、16年ぶり2度目の天皇杯出場権を掴み取りました。

天皇杯では2回戦からの登場で、ソニー仙台（JFL）と対戦し、3-2で天皇杯初勝利を収めました。続く3回戦はラインメール青森（JFL）と対戦しましたが、惜しくも1-2で敗戦となりました。

全国でも通用する実力を発揮してくれたサッカー部の更なる活躍に今後も期待しています。



硬式野球部が 北東北大学野球 秋季リーグ戦

34回目の
優勝

硬式野球部が北東北大学野球秋季リーグ戦において、3季ぶり34回目のリーグ優勝を果たしました。安田新監督の下での初めてのリーグ戦は初戦から8連勝しての優勝となりました。今年度は、全日本大学野球選手権大会、明治神宮野球大会ともに中止となっていました。来年度の出場に向けて新たにスタートをしています。

ご声援よろしくお願い致します。



渡邊優人さんが 岩手県アマチュアゴルフ選手権競技優勝

男子ゴルフ部1年の渡邊優人さん（福島県立岩瀬農業高校卒）が、10月15・16日に行われた岩手県アマチュアゴルフ選手権競技（参加者数：98名）において初優勝しました。



女子ハンドボール部が 日本ハンドボール選手権大会に 出場しました

女子ハンドボール部が、第72回日本ハンドボール選手権大会東北ステージ決勝で東北福祉大学に28-17で勝利し、4年ぶり6度目の優勝を決めました。これにより出場した日本ハンドボール選手権大会では、大阪体育大学に12-39で初戦敗退となりました。

ご声援ありがとうございました。



女子ソフトボール部が全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会に出場しました



女子ソフトボール部が、全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会（インカレの代替大会）に北海道・東北地区代表として出場しました。

地区予選では仙台大学を14-0、東北福祉大学に2-0と完勝し、全国出場権を獲得しました。全国大会は11月10～12日に愛知県安城市でトーナメント戦が行われ、1回戦でIPU・環太平洋大学と対戦しましたが2-3で敗戦となりました。ご支援ありがとうございました。

男子バスケットボール部が東北大学バスケットボール新人大会で優勝しました

男子バスケットボール部が12月6、19、20日に開催された、東北大学バスケットボール新人大会において優勝しました。
準決勝で岩手大学に120-82で勝ち、決勝では仙台大学に87-69で勝利し2年連続2回目の優勝となりました。



佐藤隼人さんが天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会に出場

男子バレーボール部4年の佐藤隼人さん（岩手県立盛岡南高校卒）が、12月に行われた天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会に岡崎建設 Owls（紫波町）の一員として出場しました。

佐藤さんは本学男子バレーボール部キャプテンでチームをまとめる傍ら、岩手の強豪社会人チーム岡崎建設 Owlsにも所属し、エースとして活躍をしています。

2018年に香港で開催された「FLV インターナショナル・クラブ・バレーボール・チャンピオンシップ」では同チームが優勝し、佐藤さんが大会 MVP を受賞しました。

卒業後も岩手で働きながら、岡崎建設 Owls で競技を続けていくとのこと。



Results

FUJII UNIV. Sports Clubs 大会結果
2020.4～2020. 冬

() の数字は学年

硬式野球部

■北東北大学野球秋季リーグ戦 1部リーグ

8月22日～10月1日（岩手：遠野運動公園野球場他）

8勝2敗 **優勝**

<個人賞> 最優秀選手賞 金村尚真 (2) 初
最多盗塁王 河内愛哉 (4) 初 (8盗塁)
<ベストナイン> 【投手】 金村尚真 (2) 初
【捕手】 佐藤大雅 (3) 2回目
【二塁手】 河内愛哉 (4) 初
【外野手】 山城 響 (3) 2回目
【外野手】 山城裕飛 (2) 初
【指名打者】 佐藤 要 (4) 初

■東北地区大学野球王座決定戦

10月31日～11月1日（宮城：東北福祉大学）

準決勝 対 東日本国際大学 6-0
決勝 対 東北福祉大学 2-3 **準優勝**
<個人賞> 敢闘賞 山城 響 (4)

■日本学生野球協会表彰選手

（各連盟から推薦された26人）
河内愛哉 (4) 主将 二塁手

ゴルフ部

■関東大学秋季Dブロック対抗戦

10月4・11日（茨城：サザンヤードカントリークラブ）

優勝

■関東女子大学秋季Cブロック対抗戦

11月15・29日（栃木：杉ノ郷カントリークラブ）

第6位

■岩手県アマチュアゴルフ選手権競技

10月15～16日（南岩手 CC）

渡邊優人 (1) **優勝**

サッカー部

学生チーム：富士大学

■第70回岩手県サッカー選手権 兼 天皇杯 JFA

第100回全日本サッカー選手権岩手代表決定戦

3月15日～9月2日（岩手フットボールセンター他）

1回戦 対 大宮クラブ 2-1
準々決勝 対 盛岡ゼブラ 4-0
準決勝 対 FCガンジュ岩手 4-0
決勝 対 日本製鉄釜石 1-0
優勝 (16年ぶり2回目)

■天皇杯 JFA 第100回全日本サッカー選手権大会

9月16日～1月1日（キューアンドエースタジアム宮城他）

2回戦 対 ソニー仙台 FC 3-2
3回戦 対 ラインメール青森 4-0
岩手県勢初の4回戦進出ならず

■東北地区大学サッカーリーグ1部

9月12日～11月21日全7節（花巻スポーツキャンプむら他）

7戦5勝1分1敗 **2位**

■ #atarimaeniCUP2020(インカレ代替大会)

東北第2代表決定戦

11月28日 VS 東日本国際大学（みやぎ生協めぐみ野サッカー場）
3-0 勝ち #atarimaeniCUP2020 出場

■インディペンデンスリーグ東北

10月4日～11月8日全6節（富士大学人工芝サッカー場他）
6戦3勝2分1敗 **3位**

社会人チーム：富士クラブ2003

■第70回岩手県サッカー選手権 兼 天皇杯 JFA 第100回

全日本サッカー選手権岩手代表決定戦

3月15日～9月2日（岩手フットボールセンター他）
1回戦 対 日本製鉄釜石 2-3

■東北社会人サッカーリーグ1部

7月12日～9月2日全9節（富士大学サッカー場他）
9戦1勝4分4敗 **8位**

女子ソフトボール部

■北海道・東北地区大学ソフトボール選手権大会 兼 全日本大学

ソフトボール選手権大会 北海道・東北地区予選会

9月12日（石鳥谷ふれあい運動公園）

対 仙台大学 14-0

対 東北福祉大学 2-0 **優勝**

■全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

11月10日（愛知：安城市運動公園ソフトボール場）
1回戦 対 環太平洋大学 2-3

テニス部

■東北学生テニス夏季トーナメント

8月24日～28日（宮城：泉総合運動場他）

男子シングルス 高橋陽向 (2) **ベスト64**

バスケットボール部

■岩手県男女総合バスケットボール選手権大会

7月11～12日（北上総合体育館）

男子1回戦 対 一関工業高校 72-66

準決勝 対 滝沢クラブ 66-59

決勝 対 ST-IWATE 59-78 **準優勝**

<優秀選手賞> 菅原綾真 (4)

■東北大学バスケットボール部リーグ戦

10月23～11月1日（山形：山辺町体育館他）

男子 3勝2敗 **第3位**

女子 1勝4敗 **第5位**

バドミントン部

■岩手県年齢別バドミントン選手権大会

9月5～6日（北上総合体育館）

男子シングルス 村井連弥 (3) **準優勝**

早野寛太 (4) **ベスト8**

荒河慶哉 (1) **ベスト8**

男子ダブルス 村井連弥 (3)・小川挑汰 (3) **ベスト8**

■東北学生バドミントン秋季リーグ

11月8日～10日（宮城野体育館）

男子1部 対 東日本国際大学 0-3

対 東北学院大学 1-3

対 仙台大学 0-3 **第4位**

入替戦 対 東北福祉大学 1-3 2部降格

男子バレーボール部

■東北バレーボール大学秋季リーグ

10月11日～11月1日（仙台大学第2体育館）

男子1部リーグ 3勝4敗 **第6位**

ハンドボール部

■日本選手権東北ステージ兼

東北総合ハンドボール選手権大会

10月31～11月1日（花巻市総合体育館）

女子準決勝 対 学法福島高校 37-9

決勝 対 東北福祉大学 28-17

優勝 (4年ぶり6度目) 日本選手権大会出場決定

■日本ハンドボール選手権大会

12月23日～27日（いわかわ総合スポーツセンター）

女子1回戦 対 大阪体育大学 12-39

陸上部

■東北学生陸上競技選手権大会

8月8～10日（仙台市陸上競技場）

男子110mH 鈴木泰広 (3) **4位**

男子1500m 椎名翔海 (1) **7位**

男子やり投 菊池 翔 (3) **8位**

■北日本学生兼第73回東北学生陸上競技対抗選手権大会

10月17～18日（北上市陸上競技場）

女子棒高跳 小西未樹 (2) **3位**

男子走高跳 伊藤正樹 (1) **3位**

男子5000m 菅田和馬 (2) **4位**

男子砲丸投 千田 凌 (3) **6位**

男子110mH 鈴木泰広 (3) **7位**

男子やり投 菊池 翔 (3) **7位**

岩手県農林水産部 2020年度畜産部奨励研究コンテスト
「WBC Cup 2020」
～ふたつがブレイク！ 畜産部奨励研究コンテスト～
大学生がチームで研究発表 奨励
賞状～「偉大な研究が得られた」
(農工水産省 畜産部)

チーム「わさっパー」 稲葉桜碧さん、靄田楓さん、菊地温大さん、北村史織さん、熊谷めいさん

チーム「わさっパー」の学生のコメント

■この度は、栄えある大学生部門賞をいただき、嬉しく思います。今回の発表を通して、製品の具体案や資料作成、プレゼンなど、初めての経験でたくさんのことを学びました。この経験を活かし、岩手県の活性化や社会の役に立つ活動をしていきたいと考えています。

■岩手の現状を知り、その資源の有用性を見出す貴重な機会となりました。

■岩手県にある資源の豊富さとともに、それらが世間にあまり知られていないという課題に気づくことができました。

■この発表をするに当たりこれまで注目することの無かった岩手県の特産品やそれらが抱える現状を知ることができました。

■この発表をきっかけに、岩手県の方々にまだ知らない岩手県の魅力をより一層知って欲しいと思います。

8月7日(金)、岩手県農林水産部が開催する政策提案型調査研究コンテスト「Wild Cup 2020」のプレゼンテーション審査(場所:サンセール盛岡)が行われ、大学生グループ部門において、チーム「わさっパー」(3年・相澤鈴之助ゼミ)の「偉大なるわさびが創る減菌の楽園」が選ばれ、富士大学が3年連続の受賞となりました。このコンテストは今年度で5回目、大学生グループ部門は始まってからは3回目となります。

全国の畑わさびの生産量は減少傾向にあり、岩手県の畑わさび生産量も減少しつつあります。受賞チームは、わさび産業の現状を把握し、日本で最も畑わさびを生産している岩手県岩泉町の生産量の多さに着目しました。わさびの抗菌効果・消臭効果を、昨今の衛生管理に利用できないかと考え、どこの家庭にもある「タッパ―」にわさびの機能性を利用したアイディア製品、名付けて「わさっパ―」を商品化するという内容で提案しました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、同日に行われる授与式は中止となり、9月17日に、岩手県農林水産部長の佐藤隆浩様はじめ職員の方が来学し、本学大会議室にて授与式が行われました。

受賞者には盾と賞状、そして副賞が授与されました。

発表テーマと発表チーム参加者（富士大）＊印は発表者

- 「偉大なるわさびが創る滅菌の楽園」
チーム名：わさっぱー（3年・相澤専門演習Ⅰ）
＊稲葉桜碧さん、＊霧田楓さん、菊地温大さん、北村史織さん、熊谷めいさん
- 「もち米タピオカ 82 番の方！」
チーム名：チーム良則（3年・中村専門演習Ⅰ）
＊鈴木悠斗さん、小田島有佑さん、延足雄人さん
- 「ギョギョ！山ぶどうで山と海に活気を」
チーム名：山ぶどう促進委員会（4年・相澤専門演習Ⅱ）
＊吉田健太さん、工藤大幹さん、柳畑寛太さん、菅原拓光さん



写真右から南さん、石川さん、石田さん、
石部さん、菊池さん、ギルバートさん

教養演習発表会（1年生によるゼミの研究成果発表会）が
学内で12月16日に行われました。

会場を 3 分科会に分け、それぞれの分科会で 28 名の学生表彰のようす（石田直也さん）
が発表しました。各分科会ごとに学生と教員が評価を行い、上位 2 名を優秀賞とし、6 名の発表者が 12 月
22 日に表彰されました。

表彰した佐々木義孝教養教育科長は、「皆さんは後期、この発表会に向けてテーマを設定し、文献調査などを行い、自分の考えをまとめて発表した結果、23テーマの中から見事選ばれました。とても素晴らしいことなので、誇りと自信をもってください。そして、発表まで指導して下さったゼミ担当の先生に感謝の気持ちを伝え、さらに努力してください」と受賞者をたたえました。

この教養演習発表会は毎年開催されていますが、表彰を行うのは今回が初めてで、学生の取り組みを表彰してあげたいというゼミの先生方が提案と準備を行い実施したものです。



表彰のようす（石田直也さん）

教養演習発表会での優秀賞受賞者を表彰しました

表彰された発表者

■第一分科会（発表者6名）

南 志昊（ナム ジホ）さん
「K-POPと経済の関連性について」
石川百杜巴さん
「学校教育との関係におけるクラブチームの在り方
～陸上競技を見てみよう～」

■第二分科会（発表者9名）

石田直也さん
「鈴木東民から学ぶ私の生き方」
石部つぐみさん
「なぜアパレル業界では、
ユニクロは圧倒的に売り上げが高いか」

■第三分科会（発表者8名）

菊池優希さん
「コンビニエンスストアの競争戦略について」
ディピリアギルバートさん（フィリピン出身）
「差別と偏見 ～生まれた国と育った国～」

留学生が来日しました

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、日本に入学ができていなかった韓国・中国の新入生9名が、11月に来日しました。

現地で PCR 検査を受け、到着後は 2 週間の待機期間を経て、無事に花巻へ来ることができました。1 日でも早く日本の生活に慣れてもらい、充実した留学生活を送れるようサポートしていきます。(異文化交流センター)



2021年度入試案内

経済学部 / 経済学科・経営法学科

	特別選抜	一般選抜		大学入学共通テスト利用選抜		編入学・転入学選抜		
	学力優秀者 資格取得者	I 期	II 期	I 期	II 期	I 期	II 期	III 期
出願期間	II 期 1/7(木) 2/5(金) 消印有効	1/7(木) 2/5(金) 消印有効	2/8(月) 2/26(金) 消印有効	1/7(木) 2/5(金) 消印有効	2/8(月) 2/26(金) 消印有効	10/12(月) 11/6(金) 消印有効	1/7(木) 2/5(金) 消印有効	2/8(月) 2/26(金) 消印有効
試験会場	本学	本学		———		本学		
試験日	2/12(金)	2/12(金)	3/5(金)	大学入学共通テスト 2021年1/16(土)・1/17(日)		———	2/12(金)	3/5(金)

今年度の入学試験について (2021年入学者対象)

今年度から学部入学者選抜のすべての出願方法をインターネットから行う Web 出願とし、受験時の利便性が向上しました。

また、2020 年 12 月までの選抜方法を、事前提出型小論文及びオンライン面接試験としました。2021 年以降の選抜方法についての最新情報は本学ウェブサイトの入試情報に掲載しています。



OB Message

青森県立木造高校 ▶ 富士大学
▶ NTT 東日本
投手 (左投左打) 最速 152 キロ



埼玉西武ライオンズから指名を受け、入団することになりました。卒業してから社会人を経てプロ野球選手になるのは僕が初めてなので不安でしたが、指名を頂いてからは光栄な気持ちでいっぱいです。

大学 4 年に上がるときにプロ入りを一旦諦め、社会人野球に進む事を決めたわけでしたが、諦めず社会人からプロに行くんだと強く決心しここまで成長できたのはもちろん周りの協力があっての事です、何より自分自身を誇りに思います。

皆さんも目の前の夢を叶えられずとも諦めなければ得られるものは絶対あると思うので、自分を信じ突き進んでくれたら OB として嬉しいです。

卒業生の佐々木健投手が、西武ライオンズから 2 位指名を受けました

本学を 2019 年 3 月に卒業し、NTT 東日本に入社した佐々木健投手が、2020 年プロ野球ドラフト会議にて埼玉西武ライオンズから 2 位指名を受けました。

在学中は、北東北大学野球春季・秋季リーグ戦すべて富士大学が優勝しています。

佐藤龍世 (西武)、鈴木翔天 (楽天) とは同期。富士大学卒業生でプロ野球から指名を受けたのは 10 人目 (卒業後の指名は初)。

大学時代の成績

- 2018 年 (4 年次) 東北地区大学野球選手権大会
優勝 最優秀投手賞
- 北東北大学野球秋季リーグ戦 1 部リーグ
優勝 ベストナイン 投手



コロナ禍と富士大生の就職活動

キャリアセンター副センター長 荻宿 吉宏

令和 2 年の大学生の就職活動は、新型コロナウイルス感染症の拡大により合同企業説明会が中止となり、会社説明会や採用・面接試験は対面式からオンライン方式に変わるなど例年とは大きく異なる状況下での取り組みとなっています。

これに対応し、キャリアセンターでは、例年開催している各種資格取得講座や就職対策講座は日程変更などの調整を図りながら実施に努め、また、「ウェブ面接セミナー」や「体育系学生のための就職セミナー」を急遽企画・開催したほか、学内に「ウェブ専用室」を設けて、オンラインによる会社説明会や採用面接、内定式での学生利用に供するなど、「新しい就活様式」へ対応した就職支援に取り組んでいます。

令和 2 年 3 月卒業生の就職状況は、実就職率が 96.0% (全国平均 76.5%) で全国第 4 位 (経済系学部)、全就職者に占める公務員・大手優良企業への就職者の割合が 44.6% と前年度を上回る実績を挙げることができました。

一方で、企業による「就職内定取り消し」や「入社時期延期」が心配されましたが、幸い、本学卒業生からのキャリアセンターへの相談や報告は 1 件もなく安堵しました。学生の就職先が、コロナ禍による影響の少ない業界や業種が比較的多くなっていったことが理由の一つと考えられます。

現 4 年生の就職活動は、例年より 3 月 1 日から始まりましたが、4～5 月は県境を越えた移動制限等があり、ほとんど活動できない状況となりました。このため、就職内定状況は、7 月までは前年度より低い状況でしたが、その後、徐々に回復し 12 月末の内定率は 78.9% で、前年度との差は 3.5 ポイントと、ほぼ同じ状況まで回復しています。現在、未内定者等、就職活動中の学生へ個別相談を行い、希望学生全員の内定に向けて、全力で支援に努めているところです。

富士大学のキャリア教育は「イーハートブ・キャリアプラン」に基づき 4 年間の中で体系的に行われていますが、就職活動の早期化に対応し、昨年度一部見直しを行いました。実践的キャリア支援科目「キャリア形成論Ⅳ」の履修時期について、今年度より、4 年生前期から半年早め、3 年生後期に変更しました。企業の採用活動がコロナの影響を大きく受ける中、先手必勝の就職活動はますます重要になると考えられます。

現 3 年生を対象とした就職活動 (就職説明会や会社訪問等) は令和 3 年 3 月 1 日のスタートですが、それに備えた活動はすでに始まっています。キャリアセンターでは、12 月以降「就活ファッションセミナー」「就活ガイダンス」「教員採用試験対策模試」「公務員採用試験対策模試」等を計画しており、3 年生の就職支援に取り組んでいます。

内定者メッセージ

公務員試験に合格 (地方公務員)

民間企業と公務員の違いは、サービス提供範囲にあると考えます。民間企業は自社の方針に沿って客層を選べますが、公務員はすべての人が対象となります。私は自分が行うサービスを分け隔てなく提供したいと思い、公務員を志望しました。

公務員試験の勉強は 3 年生の夏から始めました。過去問を中心に勉強し、佐々木修一先生をはじめ多くの先生方から熱心な指導をいただきました。長期休暇中も先生の研究室に通い、教えていただくうちに自分で解ける問題も増え、一層勉強がはかどるようになりました。また、本学には公務員試験対策の授業がたくさんあり、それらを積極的に受講することで、自分の知識を広げることができました。先生方の熱心な個別指導と充実したカリキュラムのおかげで、自分の自信にも繋がり、無事、念願の公務員試験に合格することができました。

本学は、キャリアセンターをはじめ、様々な先生方がサポートしてください。みなさんぜひ富士大学で可能性を広げて、やりたいことを見つけてください。



上山 海斗
盛岡市立高校卒

公務員試験に合格 (警察官)

富士大学は、就職に強い大学です。資格取得講座が多く開かれています。

私は早い時期から警察官を志望しており、1 年生の時期から公務員講座などに積極的に参加し勉強に励みました。公務員の勉強は、今までとは違った難しさがあり、また、女子バスケットボール部との両立も大変でした。自分のできる範囲から始めて、苦手分野はそのままにせず先生方に指導をいただいたり、面接についてはキャリアセンターの方に過去の内容について調べていただいたりと、情報収集をしました。努力の結果、第 1 志望の神奈川県警察から内定をいただくことができました。

自分がなりたい職業のためにどれだけ時間を費やせるか、周りに影響されない軸を持てるか、就職活動とは社会人になるための 1 つの試験だと感じました。

4 年間の大学生活は、長いようで短かいという間です。皆さんも様々なことに挑戦し、試験に向き合い、たくさんのことを経験してほしいと思います。充実した大学生活を送れるよう、皆さんの夢が叶うよう応援しています。



館岡 果南
秋田市立
秋田商業高校卒